

Ⅰ 学校教育目標	
◎か	んがえる子 ・ 自らの課題を見付け、その解決のために主体的にかんがえる子
が	んばる子 ・ 目標に向かい、粘り強く最後までがんばる子
◎や	さしい子 ・ 集団の一員として、相手の立場を考え行動するやさしい子
け	んこうな子 ・ 自ら心身を鍛え、安全な生活を心掛けるけんこうな子
東砂の子	人権教育の精神を基調に「知性、感性、道徳心や体力などを身に付けた、人間性豊かな児童」「主体的に考え、行動できる児童」「地域を愛し、郷土への誇りと豊かな国際感覚をもつ児童」の育成をめざす。

Ⅱ 経営方針	
目指す学校像	組織目標：「かがやけ！チーム東砂 みんな笑顔」 ～子供も大人もみんなかがやけ！笑顔あふれる東砂小学校～ ◎「チーム東砂」としての学校 教職員、保護者、地域と共に学校教育の充実を図り、子供たちを育成する。 ○子供が毎日通いたい学校 ・ 子供一人一人の学びを保障し、安全で安心できる居場所をつくる。 ○教職員が働きがいのある学校 ・ 自らの授業力を高め、協働し合い、よりよい授業、学校をつくる。 ○保護者・地域が誇りに思う学校 ・ 誠実に対応することを常に心掛け、安心感を与え信頼を得る。
目指す児童像	教育目標の具体的な姿として、次の4つの目指す姿の育成を通して、その実現を図る。 ○主体的・協働的に学び、行動する子 ・ 「問題発見・解決能力」を重視 ○感じて、考え、行動する子 ・ 「人間関係形成力」「人権尊重の精神」を重視 ○粘り強く考え、行動する子 ・ 「困難を乗り越える力」を重視 ○主体的に健康で安全な生活に取り組む子 ・ 「自ら挑戦する力」を重視
目指す教師像	○愛情と情熱をもって子供に向き合う教師 ・ 粘り強く指導・支援し、子供一人一人を大切にし、伸ばす ○自ら学び続ける教師 ・ 指導法や教材研究を工夫し子供が「分かった」と思える授業を追求する ○組織、チームで協働し、誠実に対応する教師 ・ 問題や困難な状況において、組織で丁寧に対応し、解決に導く
経営理念	1 「保護者、地域と共に未来に羽ばたく子供を育てる東砂小学校」 (1) 児童理解に基づく授業改善、教育活動を推進する。 (2) 保護者、地域の人材を活かし、教育活動の充実を図る。 (3) 学校・保護者・地域の連携を密にし、安全な環境をつくり、見守る。 2 「心と体の健全育成を図り、人権感覚を高めていく」 (1) 一人一人の子供の姿を多面的に捉え、認め励まし伸ばす。 (2) 教職員自らが人権感覚を養い、子供の心身の変化に敏感になる。 (3) 仲よし学級、異年齢（たてわり班）交流、保幼小中連携教育を推進し、自他の大切さに気付かせる。

Ⅲ 経営目標

重点領域 1	確かな学力の定着：「問題発見・解決能力」の育成	
中期経営目標	○自ら考え、主体的に学ぶ習慣が定着した子にする。	
短期経営目標	・「こうとう学びスタンダード（ネクスト・ステージ）」を基にKOTOスタイル（課題設定、自力解決、協働学習、振り返り）の定着を図り、ICTを活用した授業改善を推進し、自ら学習に取り組む習慣の促進を図る。 ・全教員が「学び方スタンダード」を理解し、指導改善を図る。 ・読書活動や俳句に取り組み、感性を豊かにし、言語環境を整える。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（子供側）
1	ICTを活用した活動を実施し、授業等の改善を図っている。 （成果指標 90%）	Chromebook を使った授業は、分かりやすい、楽しい。 （成果指標 90%）
2	こうとうスタイルを取り入れた授業を行い授業改善に努め、自主学習を年間3回促進している。（成果指標 100%）	学校や家庭で勉強していて「分かった、できた」「楽しい」と思うことがある。 （成果指標 85%）
3	「学び方スタンダード」を踏まえた指導を行い、学習規律等の定着を図っている。（成果指標 100%）	学校の先生が出した宿題だけでなく、自ら課題設定しやり遂げている。 （成果指標 80%）
4	図書館やインターネットなどを活用し、子供たちが本に親しんだり、調べたりすることができるよう指導している。 （成果指標 90%）	めあてをもって読書活動に取り組み、課題を解決するために本やインターネットで調べている。 （成果指標 85%）

重点領域 2	豊かな心の育成：「人間関係形成力」「人権尊重の精神」の育成	
中期経営目標	○自分を大切にするとともに他者を大切にすることができる子にする。	
短期経営目標	・互いの考え方等の違いを認め、相手の気持ちや立場を考えて関わろうとする。 ・道徳授業や学級会等を通して思いやりの気持ちをもち、助け合いながら生活できるようにする。 ・気持ちの良い挨拶がすすんでできるようにする。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（子供側）
1	東砂アクティブスタイル定着のために継続的な指導を行っている。 （成果目標 100%）	アクティブスタイルを守り、協力し助け合いながら学習に取り組み、生活している。 （成果指標 85%）
2	一人一人を大切にしたい教育を行うために、児童の心身の健康状況の把握に努めている。（成果指標 100%）	先生は相談に乗ってくれたり、励ましたりしてくれる。（成果指標 85%）
3	一人一人の自己肯定感を高めるために意図的・計画的な取組や工夫をしている （成果指標 100%）	自分にはよいところがあり、友達にもよいところがあることに気付いたり、感じたりする。 （成果指標 90%）
4	日常的生活や意図的・計画的な挨拶の取組を通して、積極的に挨拶のできる児童を育てる。（成果指標 100%）	校内や地域で人に会ったとき、すすんで挨拶をしている。 （成果指標 80%）

重点領域 3	健やかな心身の成長：「主体的に健康で安全な生活に取り組む子」の育成	
中期経営目標	○めあてをもち、自ら運動に楽しく取り組むことができる子にする。 ○健康的な生活習慣をすすんで身に付けることができる子にする。	
短期経営目標	・「わくわくタイム」や休み時間の遊びを通して、運動の楽しさを味わい、すすんで運動に取り組むことができるようにする。 ・めあてをもって取り組み、考えたり協働したりして課題を解決する。 ・健康について理解し健康的な生活を意識して生活できるようにする。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（子供側）
1	「わくわくタイム」（体育の授業）を工夫し、子供たちが主体的に楽しく運動に取り組めるようにしている。 （成果指標 90%）	体育の授業は、めあてをもって体を動かしたり、友達と教え合ったりして、楽しく運動している。 （成果指標 90%）
2	運動機会の充実や、子供たちの健康な生活習慣の定着を図っている。 （成果指標 80%）	休み時間に体を動かすことが好き、早寝、早起きをして、朝ご飯を食べている。 （成果指標 80%）
3	タブレット端末の使用ルールや東京 SNS ルールを意図的・計画的に指導している。（成果目標 90%）	タブレット端末や SNS を使うときは、ルールを守っている。（成果目標 85%）

重点領域 4	学校・家庭・地域との連携：「困難を乗り越える力」の育成	
中期経営目標	○周囲の環境や人に関する多様性を理解し、協働できるようにする。 ○子供同士の学び合いや教師との学びを通して、課題解決力を高める。 ○環境や文化に触れあい、地域・学校を大切にする態度を身に付ける。	
短期経営目標	・地域の特色や専門性をもった人材の活用を取り入れた活動を通して、地域や学校のよさを大切にしようと思えることができる。 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育活動を推進し、すべての子が安心して過ごせる環境・授業づくりに努める。 ・SDGs や伝統文化に触れる活動を通して、環境や文化の大切さに気づき、自分にできることを考えたり行動したりする態度を養う。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（子供側）
1	地域の特色や人材を活用した授業を年間 3 回実施し、教師自らも地域を理解しようとしている。 （成果指標 100%）	体験することで地域のことを知ったり、地域の方から話を聞いたりすることは楽しい。 （成果指標 90%）
2	子供の特性を把握し、教室環境の整備や指導の工夫を行い、学校の情報を積極的に発信している。 （成果指標 100%）	毎日家族に学校の話をして、頑張っていることを認めてもらったり、励ましてもらったりしている。 （成果指標 85%）
3	道徳の授業を通して、子供たちが自分事として考える授業を行い、計画的に家庭へ発信している。 （成果指標 90%）	道徳の授業で考えたり友達や先生と話し合ったりしたことを家で話すことがある。 （成果指標 90%）

